

ウォーターアクティビティ医療用酸素ファーストエイド講習ご案内

主催：国際潜水教育科学研究所

後援：日本財団「海と日本 PROJECT」

協力：一般社団法人マリンレジャー振興協会

実施体制・参加条件・リース条件（重要）

- 本講習会は、日本財団「海と日本 PROJECT」の支援を受けて実施します。
- 参加資格：各地域のマリンレジャー関連団体に所属している方を対象とします。
- 特典（機材リース）：講習を修了し酸素ファーストエイド・プロバイダーに認定された方へ、医療用酸素資機材一式を2年間無償で貸与します。
- ランニングコスト：無償リース期間中の医療用酸素ボンベ充填費や各種検査費などのランニングコストは、受領者（リースを受けた方）の自己負担とします。
- 継続教育と回収：2年後の継続教育（再講習）に不参加の場合は、所属団体の責任で機材を回収いただきます。

特典

ウォーターアクティビティ医療用酸素ファーストエイド講習を終了し、酸素ファーストエイド・プロバイダーに認定された方に、医療用酸素資機材一式を2年間無償貸与します。

1. 医療用酸素講習（潜水障害、溺水、水没溺者救命救護を想定）について □
 - 水辺活動時の緊急事態において、応急手当として医療用酸素を補助的に使用し、蘇生法を実施する方法を習得します。
 - 溺水・潜水障害等の場面で医療用酸素を用いた応急処置ができることを目指します。
 - 対象：スノーケラー、スキン／スクーバダイバー、ライフセーバー、プール監視員、水泳指導者、スノーケリング・ダイビング事業者、水辺活動従事者、船長、船上監視員、教職員、潜水土、潜函作業者、水辺活動に従事する公務員等。
 - 一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会より酸素ファーストエイド認定証を発行します。
2. アウトライン（計6時間：座学3h／実技2h／筆記1h） □
 - ① 応急手当の必要性
 - ② 生理学の復習
 - ③ 溺れの応急手当と酸素

- ④ ダイビング障害の酸素
- ⑤ 酸素および使用時の注意点
- ⑥ 酸素器材
- ⑦ 酸素器材の使い方とクリーニング
- ⑧ 追加情報
- ⑨ 実技とシナリオによるトレーニング

記

- 期日：ウォーターアクティビティ酸素講習
2026(令和8)年3月9日(月) 9:30～17:00
ダイバーレスキュートレーニング
2026(令和8)年3月10日(火) 9:00～12:00 (集合場所：浜崎港北)
- 講習会場：大濱信泉記念館 2階 研修室 〒907-0004 石垣市登野城 2-70
- 新規受講料：27,500円 (教材・税込)
- 登録料：6,600円 (顔写真×2枚 [免許証サイズ 3.0cm×2.5cm] ・税込)
 - 県立八重山病院救急科で蘇生法受講者された方は、受講料を割引します。
- 持ち物：筆記具、ポケットマスク、顔写真
 - 更新受講料：11,000円 (教材持参・税込)
 - 更新登録料：6,600円 (顔写真×2枚 免許証サイズ 3.0cm×2.5cm ・税込)
 - 持ち物：認定証、教材、筆記具、ポケットマスク、顔写真
- 振込先：沖縄海邦銀行 石川支店 普通 502729
- 口座名義：有) 国際潜水教育科学研究所

参加申込

添付している受講申込書に記入のうえ、メールでご返信ください。

参加者情報：「氏名」「所属先」「携帯番号」「メールアドレス」「住所(〒)」

- ※ オプション：ノンリブリーザーマスク (880円・税込)
ポケットマスク (3,300円・税込) 購入希望の有・無

送付先・問い合わせ：送付先：村田 幸雄 (TR1218001)

Email：yomusa764670@gmail.com

不明な点は上記までお問い合わせください